

2018年5月16日

新日鐵住金が日新製鋼を完全子会社化—格付に影響なし

新日鐵住金（証券コード：5401、発行体格付=A+）は16日、日新製鋼（証券コード：5413）の完全子会社化を決定した。2018年12月頃に開催予定の日新製鋼の臨時株主総会で承認を受けたうえで、2019年1月1日を効力発生日として実施する予定だ。日新製鋼は上場廃止となる見通し。

新日鐵住金は2017年3月、TOB（株式公開買い付け）により日新製鋼を連結子会社化した。以降、シナジーの最大化に向けて高炉の操業ノウハウ共有や延命技術の活用、集中購買によるコスト削減などに取り組んできた。今回の完全子会社化により連携を一層深化する方針で、具体的には2019年4月以降、新日鐵住金の特殊ステンレス事業の一部と日新製鋼のステンレス鋼板事業を新日鐵住金ステンレスに統合する。事業再編を通じて収益基盤の強化を図れるかが注目点となる。

日新製鋼の普通株式1株に対して、新日鐵住金は同0.71株を割り当て交付する。自己株式を充当する予定でありキャッシュアウトは発生しない。日新製鋼の資産及び負債は新日鐵住金の連結財務諸表に反映済みであり、実質的には自己株式と非支配株主持分が相殺される形となる。新日鐵住金の財務リスク評価に及ぼす影響は限定的とみており、格付にも響かない。

主任格付アナリスト：鈴木 俊行

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。